

村尾 寄附を出せる処はそれにより利益があるかう良いが町全体を見てやってもういたい

西村 幹線道路を先に引きその他の拡張補修と順に町長の方針を立てほしい

町長 町発展のため理想的幹線道路の計画

乙画整理的道路を逐次計画したい

委員長 補助金の追加をもらった場合受入れられるか

助役 本年度土木費は補助道その他で終り他の工事の起債補助金の

見通しは悪く土木方面も見通しが立たないので年末までのぼりたい

町長 三年度の締めくりがまだつてなく屠場水道小学校の関係もあり

もう少し先でないと見込がたいたい

委員長 選でやることに決定したい

一町営住宅入札業者の指名について

東京都西多摩郡福生町役場

建設部土木課建設課長 田中

業者名 福生建設 富士見建設 上石工務店 田中工務店 竹達工務店

田村建設 大野建設 狭山建設 瑞穂建設 小林土建 森田土建

森田木杣工業 西多摩土建 並木建設 馬場組 清水建設 荒井組

多摩工業

町長説明 本年度二十棟造る

委員長 田村さんの土地の方はどうか

助役 大体うまく行くと思う

予定地中通り(農道)について協議

現在の農道を通りわけよう残すことに決定

十二時 休憩 昼食

十二時三十分再開

委員長 入札者の決定について建築と電気附帯と分けた方がよか

村尾 一いよがよい

委員長 別の方が安く出来ないか

村尾 指名者の選定が第一

委員長 うわさの業者はオミットするが、それもどうか

村尾 もっと強方になった場合なるべくそうしたい、どの位の金額か

遠塚 一戸当り一百万位

委員長 昨年電気が十五万位だった、セリ合はせることもよい

清水 行き方は将来の問題で別がよい

高橋 選定が問題だ

委員長 何れにしても地元の五社はオミットするわけにゆかない

課長 附帯、主を別か、どうか

委員長 一しよにゆくか、分けた方が競争してよい

今年もう一度別にやりたい

助役 主、水、電と分けたそうだが請負者の希望は主と土木が一しよか

東京都西多摩郡福生町役場

東京府西多摩郡福生町役場

良いではなかったか

村尾 仲の良い業者はよいが、悪い場合はこまる

助役 では電気水道は別で、土木は一車でゆくか

委員長 一車でたいてやるか

課長 二十八年か、一しよにやり電気が中々入らないで困った

町長 附帯一車、電気水道とする、道路はどうか

猪俣 ふくめる

村尾 その場合の監督はどうか

委員長 一身合体でやってほしい、都合のつく方が見る

課長 この中でひろってほしい

委員長 地元の五社、上石工務店、田中工務店、竹達工務店、田村建設

大野建設、と、狭山建設、西多摩土建、こゝうでどうか

高橋 富士見、福生は土建か

委員長 土木を 以上七社でどうか

課長 その一、その二はどうか

委員長 十戸づつでどうか物が上つてゐる、大きい業者でなく十戸位かよい

遠塚 二社の方が競争になる

村尾 監督者の立場はどうか

遠塚 一車の方がやりよいと思うが

委員長 一車にしても必ず業者が分ける

遠塚 入れの権利があるのに出ないで下請をやる者がある

委員長 業者間で手伝はせるということとは仕方ない

町長 分けた方が良いか、一車か良いかの問題

西村 十戸位が良い

町長 十戸づつ分けた場合二回入れするか二つに分けるか

委員長 その一を落札したのを除けば良い

東京都西多摩郡福生町役場

建築部建築課設計課長 田中

遠塚 配置の関係はどうか

町長 仕事のしやすい方でよい

遠塚 地域的に不公平になる、坪単価でまゐる

西村 そのままで考へる必要ない

委員長 では以上七社指名する 期日は

課長 九月中旬頃

委員長 年内に入れるようにやりたい 以上の様に決定したい

電気業者は大村、福井、小林、丸電、土佐、内田、志村

工期 十月一はい

一、中福生の改修工事について

町長 何米か

猪俣 二一六米

説明

村尾 至急にやれ

委員長 はつきりしたう関係者をよんでもういた

以上決定する

一、内出 都道十三号線より補助道三号に至る新設道路について
猪俣 測量図説明

町長 二本一ぺんでは無理だということになそ一本もようやく出来た
八米でなくても六米でもよくはないか

委員長 六米を目標にする

高橋 下水は民地へ作れはよい

委員長 それで決定

一、長沢新設道路について

委員長 すぐ着工するか

村尾 個人の考としてもう少し広い方がよい

委員長 あそこで止まっては仕方ない

村尾 それでは駄目だもつと延長する

委員長 継続事業として貫きたいが本年は坂だけやりたい

清水 地元として何とかほしい

高橋 将来のため五米位ほしい

清水 四米なら今何もかけなくてすむ先は先でよい

村尾 どうせやるなら先を考へた方がよい

清水 それに結構だが今は無理だ

村尾 四米道路はとり上げたくない

町長 将来拡げるより今造る時考へておくべきだ

自働車を考へて六米必要だ

村尾 四米では消防車もこまる

長沢にはこれと云う道路がないから五米位にしたい

委員長 地元関係者を集め最低五米と一々話合う

一、公衆浴場排水の件(報告)

委員長 地元と折衝の結果 解決

十五万同寄附により竹達工務店が施工

道路は矢対でやる

一、アサノポールに新堀橋改修の件

村尾 早急にやってもういたい

町長 早れも至急やってもうう

終了 午後二時二十分

右の通り相違ないことを証するためここに署名する

昭和三十一年八月二十七日

福生町議会土木委員長

東京都西多摩郡福生町役場

建設委員会

一日 時 昭和三十一年十月三十一日 午前十一時

二場 所 於福生町役場会議室

三出席委員

瀬古 吉雄 町常任 渡辺 孝市 村尾 四郎

石川 信義

四出席 川窪 功役 高木 土木課長 猪俣 技師

協議事項

一、公道敷設に関する件 (陳情)

申請人 長沢 才次郎 田村 誠一 外二名

村尾 陳情するに当り 早急に施工は望むが、陳情人には云々ある

本件の計画に於ては、無意味で反討である補助道と踏まえて、母通するよう

計画されることか、と云う

大正

委員長 長沢管内で二路線の新設は困難であるので地えで調整して頂き
ない 然し管内の坂の改修の方が優先する。

役 本年管内に執行することは予算面からみて困難である

唯これより長沢の勢が發展すると云ふので委員長諸氏が賛成なら
ば施工も考えなければならぬが年内に着工は困難であり又順序

として長沢の方が先決であると思ふ

委員長 双方話し合えて頂きない

役 話し合がつかない場合はどうする この陳情書の提出される以前

に既に長沢の方が施工することに決まらぬではないか

委員長 双方話し合はることにして長沢管内の坂の改修を先にする

話し合は地え管内会長双方で決めようとする

役 本件は本年までの予算を計画するときは審議の対象とする

右の通り決まると

東京都西多摩郡福生町役場

拾得入

二分水路補修費の援助の件につき(諸君)

申請人 内山内会長 島田 政雄

土木課長 現況説明 外一七名連署

石川 本件の紹介議員となつてゐるが個人の私有地と通つてゐるもの

でもあり補修は困難であると思ふは諸君には申し伝えある

唯旧越後横断が不足金であるのでこれが改修については考えない

頂きない

お 尾 本例にもよることであるからよく研究した方がよい

委員長 現地をみて研究してからかうとするのをきける

三 本管内内土取場の処置について

委員長 上の耕地を購入するよう話を進めること

四 その他

① 市営住宅(東側)道路は未だに決りきつてゐないこと

失対の砂利取り 坊々として水三小の校東側の農地を購入したい(委員長)

3. 委員長 本年を施すところの現地を現在施工中の工事を視察し
 一たいいひ申し出さる

中食后現地視察

中福生道路改修 — 補助道七路改修工 — 補助道六路改修工

補助道八路路面補修工 — 特調新農道改修工 — 町営住宅工

一 鋸谷分水路 — 幸楽園下崖崩 — 午後三時散会

右より相違をいふことをしるすためここに署名する

昭和三十一年十月十七日

福生町議会

建設委員長

(印)

東京都西多摩郡福生町役場

市長 助役 課長 主任 係

建設委員会結果報告

記録責任者

出席者			年月日	場所
委員長			昭和三十一年十月十六日	福生町役場第一会議室
委員			自朝八時三十分 至十一時十分	
猪俣清吉	秋山誠一	石川信義	瀨古清義	村尾種吉
	川窪金吉	田村利一	高橋彦市	石川常太郎
	高水求		村尾四郎	麦田謙吉

会議事項

一 中福生地内道路改修工の一部設計変更について

助役 説明 当初し型側溝である計画であったがし型では不適当

であるし地えから強く要望されてたのでU字型側溝に設計変更
したい。尚本工と併行して敷道に沿ふ側溝を築造するまい。
村尾四郎 U字側溝では金不完全であるのでこの際本側溝にするこ
とを希望する。

右の結果 地えから幾何かの金附金を願う本側溝を築造す
るよう。助役と委員長で接洽してみること。

若し不都合な場合はU字側溝とする旨決定す。

ニ都市計画街路築造工の入札業者の指名につて
田村建設 小川土木 竹達工務店 富士見建設
鈴木組 以上五社と決定す。

三竹達産道敷払下につて
申請人 田村半十郎ト 坪数 四六坪七〇
右につては無償で払下げする 但し三所に角切をつくること
を条件とする。

建設 委員会 結果報告

記録責任者

町長		助役		課長		主任		係長	
年月日		出席者		出席者		出席者		出席者	
昭和三十一年十一月三十日		昭和三十一		昭和三十一		昭和三十一		昭和三十一	
三時五十分		三時五十分		三時五十分		三時五十分		三時五十分	
場所 福生町役場第一会議室		場所 福生町役場第一会議室		場所 福生町役場第一会議室		場所 福生町役場第一会議室		場所 福生町役場第一会議室	
委員		委員		委員		委員		委員	
村尾四郎		村尾四郎		村尾四郎		村尾四郎		村尾四郎	
石川信義		石川信義		石川信義		石川信義		石川信義	
清水市		清水市		清水市		清水市		清水市	
森田誅		森田誅		森田誅		森田誅		森田誅	
田村利一		田村利一		田村利一		田村利一		田村利一	
村尾種吉		村尾種吉		村尾種吉		村尾種吉		村尾種吉	
石川常太郎		石川常太郎		石川常太郎		石川常太郎		石川常太郎	
瀨古清義		瀨古清義		瀨古清義		瀨古清義		瀨古清義	
秋山清		秋山清		秋山清		秋山清		秋山清	
猪俣清吉		猪俣清吉		猪俣清吉		猪俣清吉		猪俣清吉	

会議事項

一補助所村道第四路舗装工事の件
委員長 現在三三一米は残り二メートル残っているが地えからの要望もあり

田おが議が中肉より協力を頂き、¹が²を³替て施工し、⁴年
な⁵に⁶内⁷建⁸い⁹る¹⁰補¹¹助¹²金¹³を¹⁴交¹⁵付¹⁶さ¹⁷れ¹⁸る¹⁹と²⁰う²¹で²²あ²³る²⁴で²⁵、²⁶こ²⁷の²⁸際²⁹は³⁰那
年³¹を³²内³³に³⁴施³⁵工³⁶し³⁷、³⁸尚³⁹也⁴⁰を⁴¹協⁴²力⁴³金⁴⁴一⁴⁵万⁴⁶五⁴⁷千⁴⁸と⁴⁹一⁵⁰時⁵¹貸⁵²付⁵³金⁵⁴
二⁵⁵万⁵⁶四⁵⁷千⁵⁸を⁵⁹用⁶⁰意⁶¹と⁶²あ⁶³る⁶⁴。

所¹長²、³の⁴年⁵次⁶計⁷画⁸で⁹は¹⁰来¹¹年¹²な¹³施¹⁴工¹⁵す¹⁶と¹⁷あ¹⁸る¹⁹が²⁰也²¹元²²の²³敷²⁴地²⁵
や²⁶田²⁷お²⁸が²⁹議³⁰の³¹中³²骨³³折³⁴で³⁵話³⁶が³⁷こ³⁸の³⁹よ⁴⁰う⁴¹に⁴²進⁴³ん⁴⁴で⁴⁵来⁴⁶る⁴⁷で⁴⁸決⁴⁹極⁵⁰
四⁵¹月⁵²や⁵³つ⁵⁴と⁵⁵い⁵⁶ふ⁵⁷で⁵⁸え⁵⁹ん⁶⁰じ⁶¹で⁶²を⁶³替⁶⁴て⁶⁵工⁶⁶を⁶⁷お⁶⁸い⁶⁹と⁷⁰い⁷¹ふ⁷²こ⁷³と⁷⁴
し⁷⁵と⁷⁶い⁷⁷ふ⁷⁸も⁷⁹切⁸⁰角⁸¹話⁸²が⁸³つ⁸⁴と⁸⁵い⁸⁶ふ⁸⁷施⁸⁸工⁸⁹す⁹⁰と⁹¹い⁹²ふ⁹³。

浅¹水²、³村⁴尾⁵、⁶高⁷橋⁸、⁹本¹⁰員¹¹より¹²夫¹³々¹⁴左¹⁵の¹⁶よ¹⁷う¹⁸な¹⁹意²⁰見²¹あ²²り²³。

こ¹の²工³を⁴施⁵工⁶す⁷に⁸あ⁹ら¹⁰り¹¹本¹²年¹³な¹⁴内¹⁵に¹⁶は¹⁷他¹⁸の¹⁹土²⁰木²¹工²²を²³が
不²⁴可²⁵と²⁶な²⁷り²⁸す²⁹と³⁰い³¹ふ³²、³³従³⁴来³⁵懸³⁶念³⁷と³⁸な³⁹つ⁴⁰て⁴¹いた⁴²路⁴³線⁴⁴
(内⁴⁵五⁴⁶、⁴⁷加⁴⁸美⁴⁹、⁵⁰長⁵¹沢⁵²)は⁵³ど⁵⁴う⁵⁵す⁵⁶る⁵⁷か⁵⁸。

こ¹の²路³線⁴は⁵本⁶年⁷な⁸内⁹に¹⁰着¹¹工¹²す¹³は¹⁴用¹⁵地¹⁶買¹⁷収¹⁸す¹⁹る²⁰旨²¹を²²反
が²³言²⁴明²⁵す²⁶れ²⁷ば²⁸本²⁹件³⁰に³¹つ³²い³³て³⁴は³⁵賛³⁶成³⁷す³⁸る³⁹旨⁴⁰を⁴¹述⁴²べ⁴³る⁴⁴。

所¹長²、³右⁴三⁵路⁶線⁷は⁸そ⁹の¹⁰よ¹¹う¹²に¹³施¹⁴工¹⁵す¹⁶る¹⁷旨¹⁸を¹⁹告²⁰げ²¹る²²。

右¹に²依³り⁴、⁵銀⁶座⁷通⁸り⁹は¹⁰鋪¹¹装¹²工¹³を¹⁴施¹⁵工¹⁶す¹⁷る¹⁸旨¹⁹に²⁰決²¹定²²し²³
指²⁴名²⁵業²⁶者²⁷は²⁸田²⁹村³⁰建³¹設³²工³³業³⁴ト³⁵大³⁶成³⁷建³⁸設³⁹、⁴⁰西⁴¹松⁴²建⁴³設⁴⁴、⁴⁵内⁴⁶組⁴⁷
浅⁴⁸沼⁴⁹組⁵⁰五⁵¹社⁵²と⁵³し⁵⁴、⁵⁵現⁵⁶説⁵⁷は⁵⁸な⁵⁹ら⁶⁰し⁶¹、⁶²入⁶³札⁶⁴は⁶⁵十⁶⁶百⁶⁷一⁶⁸万⁶⁹千⁷⁰五⁷¹百⁷²
執⁷³行⁷⁴と⁷⁵決⁷⁶定⁷⁷す⁷⁸。

二¹、²中³福⁴生⁵内⁶の⁷道⁸側⁹溝¹⁰と¹¹築¹²造¹³の¹⁴件¹⁵。

助¹役²、³地⁴元⁵と⁶接⁷渉⁸の⁹結¹⁰果¹¹三¹²万¹³五¹⁴千¹⁵の¹⁶附¹⁷す¹⁸る¹⁹こ²⁰に²¹決²²定²³し²⁴、
工²⁵の²⁶費²⁷は²⁸従²⁹来³⁰の³¹設³²計³³金³⁴額³⁵より³⁶一³⁷万³⁸五³⁹千⁴⁰位⁴¹増⁴²と⁴³な⁴⁴る⁴⁵。

右¹は²異³議⁴と⁵し⁶決⁷定⁸す⁹る¹⁰。

三¹、²本³町⁴八⁵町⁶内⁷の⁸道⁹路¹⁰新¹¹設¹²の¹³件¹⁴。

課¹長²、³所⁴管⁵住⁶宅⁷西⁸側⁹より¹⁰、¹¹却¹²道¹³九¹⁴六¹⁵路¹⁶線¹⁷を¹⁸通¹⁹す²⁰る²¹も²²で²³延²⁴長²⁵約
九²⁶八²⁷米²⁸中²⁹員³⁰四³¹米³²で³³八³⁴町³⁵内³⁶の³⁷足³⁸童³⁹公⁴⁰園⁴¹が⁴²新⁴³設⁴⁴さ⁴⁵れ⁴⁶る⁴⁷処⁴⁸で⁴⁹あ⁵⁰る⁵¹
土⁵²地⁵³は⁵⁴無⁵⁵償⁵⁶で⁵⁷提⁵⁸供⁵⁹さ⁶⁰れ⁶¹る⁶²と⁶³う⁶⁴で⁶⁵あ⁶⁶る⁶⁷で⁶⁸、⁶⁹矢⁷⁰対⁷¹する⁷²業⁷³と⁷⁴し⁷⁵て⁷⁶施⁷⁷工⁷⁸

五十六

右の結果土地が無償と云ふ事より支障を来すことに決定し
四ノ堂住宅追加する筈の事。

事費で三万圓、資材費で三万圓を必要とする旨を述べる。
 当初予算が内輪に見積られていたと云ふことなら止むを得ず
 と了解を得た。

五、その他

ハ村尾麓より巴ハン虎より却送九五跡線に至る道路の松巾エるを
一て順子ない旨發言あり、

土地はある程を提供するが、私の東側の道路もいすれ新設して頂きたい

2. 委員長 田村半一郎え松下決定した廢迄敷は両方え角切を
つけることを本人が承諾した旨を告げる

3. 失对年年当位

以上より、本年当の要求があるが、取扱をどうするか
 右の結果、従来通り、本議会へ上提后処理することに決定す